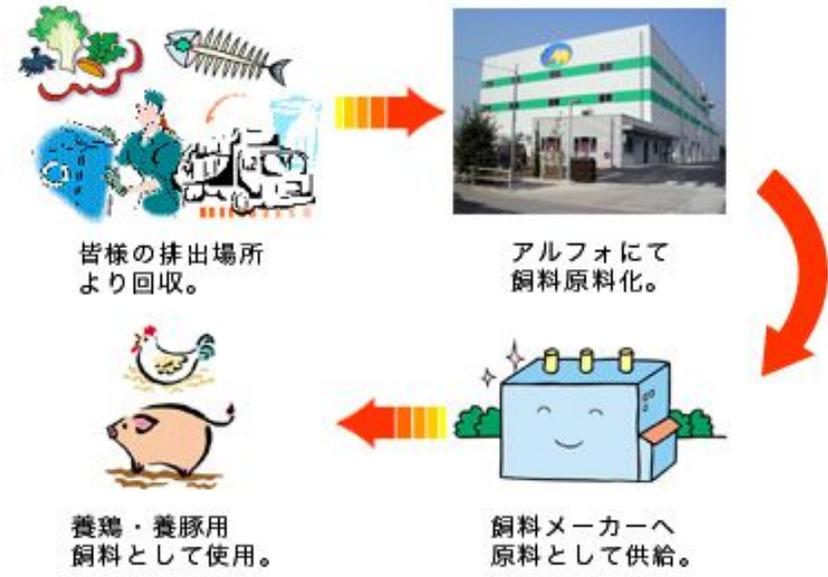


食品循環資源の再生利用の事例

再生利用事業者の取組事例

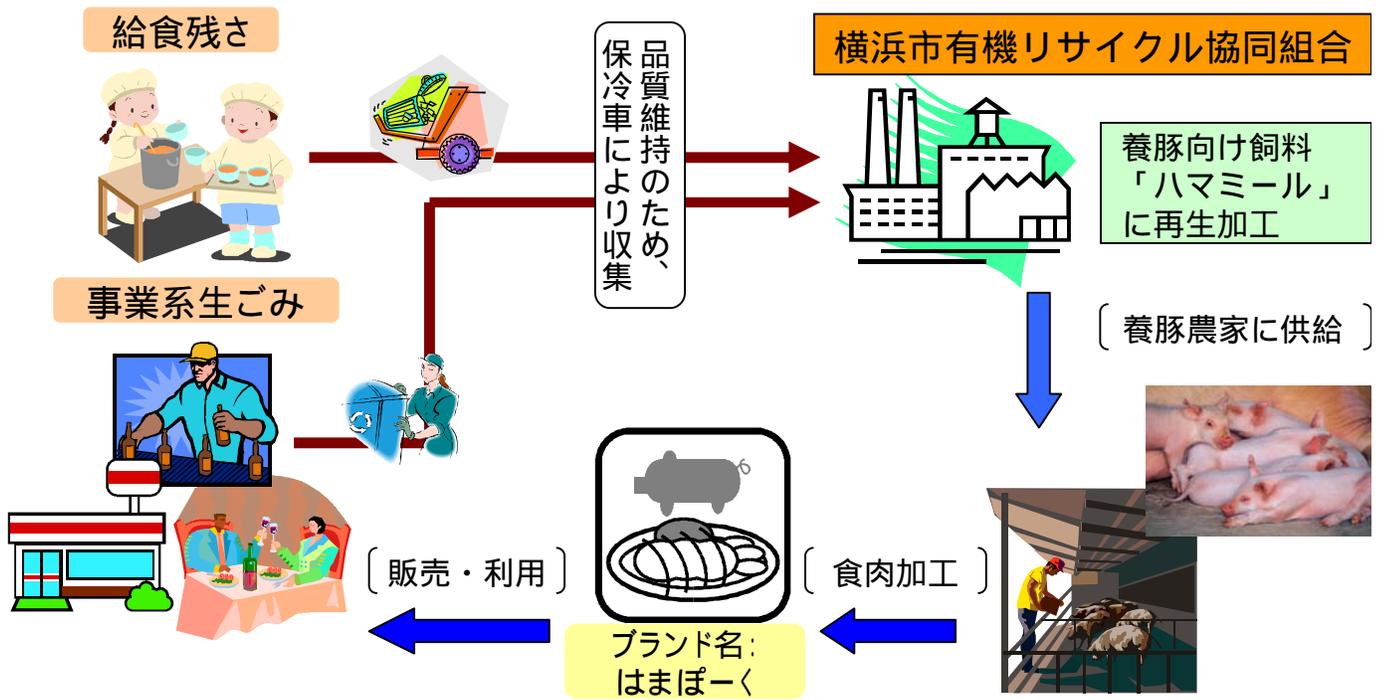
(株)アルフォの取組(飼料化)

アルフォは、厨芥類、食品製造残さ等食品廃棄物を廃食用油を熱媒体として乾燥処理し、養鶏・養豚用飼料を製造。



横浜市有機リサイクル協同組合の取組

横浜市内の学校給食や食品産業から発生する食品廃棄物を引き受け、飼料「ハマミール」に再生して、市内や神奈川県内、千葉県の養豚農家に供給。市内で生産された豚肉は「はまぼーく」のブランド名で販売され、排出元企業その他で利用。



バイオエナジー（株）の取組（メタン化）

バイオエナジーは、首都圏から収集・運搬された食品廃棄物を365日24時間体制で受け入れ、固形状のものは、「破碎機」にかけて微細化し、「選別機」で廃プラスチックなどの不適物を取り除き、メタン発酵の原料となる廃棄物を貯留し、「発酵槽」で「メタン発酵」を行ない、発生したバイオガスにより、燃料電池等を用いて発電。

